学校番号	１２０１

令和 ５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	映像から考える(英語編)	2	第３学年	SCREENPLAY オズの魔法使 バックトゥザフューチャー その他

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

映画やニュースを観ることを通して、特に、リスニングとスピーキングのスキルの向上を目指す。授業では、日常会話でよく使われる表現を中心に、台詞の意味や意図を考えたり、発音練習やディクテーションなどの活動をおこないながら、海外の人々やその文化・生活・歴史などを学ぶ。

２ 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

映画やニュースを英語で観ることを通して、自然なスピードの英語を聴き取ることができる。また、自分自身が感じたり考えたことを英語で書いたり、話すことができる。以下に技能別に記す。

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
映画の一場面を演じて英語の台詞を発表できる。母語話者にも理解してもらえるように英単語を適切に発音することができる。決まった日常の挨拶や季節の挨拶のやりとりをすることができる。	・音読、暗唱 ・ロールプレイテスト	映画やニュースの内容について感じたり考えたことを、基本的な語句や表現、文法事項などの知識を活用して簡単な英文を書くことができる。	・ﾗｲﾃｨﾝｸﾞ ・定期考査	映画やニュースを自然なスピードの英語で聞き取ることができる。	・ﾘｽﾆﾝｸﾞﾃｽﾄ ・定期考査	映画の字幕やニュースのスクリプトの英語を解釈できる。	・音読ﾃｽﾄ ・定期考査

３ 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「聞くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

学期	単元（配当時間）	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
1	20 時間	『オズの魔法使い』 １章～１０章	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
			この作品について、興味関心を持つことができる。	・映像を見て、作品について自分の考えや意見を他の生徒や教員に伝える。	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	・観察による評価
			「外国語表現の能力」			
			英語を積極的に声に出して取り組むことができる。また、感想を英語で書くことができる。	・作品の各場面について、ロールプレイで演じて、発表できる。 ・自分の考えや意見を２～３文程度の英語で書く。	・ロールプレイにおいて、正確な発音で英語を話すことができる。 ・相手に伝わる簡潔な文章を書くことができる。	・観察による評価 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
			「外国語理解の能力」			
			この作品のストーリーが理解できる。	・ディクテーションをおこない、重要な表現を定着させる。 ・Q&A を用いてストーリーの理解度を確認する。	音声を正確に聞き取ることができる。また、サブタイトルを読み取ることができる。	・ワークシートを評価する。 ・定期テストの内容理解を問う出題にて評価する。
			「言語や文化についての知識・理解」			
			基本的な文型の構造や文を理解できる。また、時制についての文法を理解できる。	・文の種類、動詞の活用、時制の意味や用法を確認する。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて判断する。
1	6 時間	ニュース記事 ニュース映像 （題材・教材未定）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
			ニュース記事（映像）について、興味関心を持つことができる。	・記事（映像）を見て、作品について自分の考えや意見を他の生徒や教員に伝える。	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	・観察による評価
			「外国語表現の能力」			
			英語でまとまりのある文を書いて、発表できる。	・身の回りでおきていることについて、また、このニュース記事（映像）について、自分の考えや意見を２～３文程度の英語で書いて発表する。	・相手に伝わる簡潔な文章を書くことができる。 ・正確な発音で英語を話すことができる。	・観察による評価 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
			「外国語理解の能力」			
			ニュース記事（映像）の内容が理解できる。	・Q&A を用いてストーリーの理解度を確認する。	音声を正確に読み（聞き）取ることができる。Q&A において７割以上の理解度に到達できる。	・ワークシートを評価する。 ・定期テストの内容理解を問う出題にて評価する。
			「言語や文化についての知識・理解」			
			基本的な文型の構造や文を理解できる。また、時制についての文法を理解できる。	・文の種類、動詞の活用、時制の意味や用法を確認する。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて判断する。
2	20 時間	『バック・トゥ・ザ・フューチャー』 １～１０章	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
			この作品について、興味関心を持つことができる。	・映像を見て、作品について自分の考えや意見を他の生徒や教員に伝える。	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	・観察による評価
			「外国語表現の能力」			
			英語を積極的に声に出して取り組むことができる。また、感想を英語で書くことができる。	・作品の各場面について、ロールプレイで演じて、発表できる。 ・自分の考えや意見を２～３文程度の英語で書く。	・ロールプレイにおいて、正確な発音で英語を話すことができる。 ・相手に伝わる簡潔な文章を書くことができる。	・観察による評価 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
			「外国語理解の能力」			
			この作品のストーリーが理解できる。	・ディクテーションをおこない、重要な表現を定着させる。 ・Q&A を用いてストーリーの理解度を確認する。	音声を正確に聞き取ることができる。また、サブタイトルを読み取ることができる。	・ワークシートを評価する。 ・定期テストの内容理解を問う出題にて評価する。
			「言語や文化についての知識・理解」			
			基本的な文型の構造や文を理解できる。また、英語の音声変化についてのルールを理解できる。	・時制の意味や用法を確認し、リエゾンやリンキングなどの音声変化を確認する。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて判断する。

学期	単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
2	8 時間	ニュース記事 ニュース映像 （題材・教材未定）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
			ニュース記事（映像）について、興味関心を持つことができる。	・記事（映像）を見て、作品について自分の考えや意見を他の生徒や教員に伝える。	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	・観察による評価
			「外国語表現の能力」			
			英語でまとまりのある文を書いて、発表できる。	・身の回りでおきていることについて、また、このニュース記事（映像）について、自分の考えや意見を２～３文程度の英語で書いて発表する。	・相手に伝わる簡潔な文章を書くことができる。 ・正確な発音で英語を話すことができる。	・観察による評価 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
			「外国語理解の能力」			
			ニュース記事（映像）の内容が理解できる。	・Q&A を用いてストーリーの理解度を確認する。	音声を正確に読み（聞き）取ることができる。Q&A において７割以上の理解度に到達できる。	・ワークシートを評価する。 ・定期テストの内容理解を問う出題にて評価する。
			「言語や文化についての知識・理解」			
			基本的な文型の構造や文を理解できる。また、時制についての文法を理解できる。	・文の種類、動詞の活用、時制の意味や用法を確認する。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて判断する。
3	15 時間	『モンスターズ・ユニバーシティ』 １～７章	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
			この作品について、興味関心を持つことができる。	・映像を見て、作品について自分の考えや意見を他の生徒や教員に伝える。	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	・観察による評価
			「外国語表現の能力」			
			英語を積極的に声に出して取り組むことができる。また、感想を英語で書くことができる。	・作品の各場面について、ロールプレイで演じて、発表できる。 ・自分の考えや意見を２～３文程度の英語で書く。	・ロールプレイにおいて、正確な発音で英語を話すことができる。 ・相手に伝わる簡潔な文章を書くことができる。	・観察による評価 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
			「外国語理解の能力」			
			この作品のストーリーが理解できる。	・ディクテーションをおこない、重要な表現を定着させる。 ・Q&A を用いてストーリーの理解度を確認する。	音声を正確に聞き取ることができる。また、サブタイトルを読み取ることができる。	・ワークシートを評価する。 ・定期テストの内容理解を問う出題にて評価する。
			「言語や文化についての知識・理解」			
			基本的な文型の構造や文を理解できる。また、多様な意味や用法のある助動詞を理解できる。	・文の種類、動詞の活用、助動詞の意味や用法を確認する。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて判断する。
3	5 時間	ニュース記事 ニュース映像 （題材・教材未定）	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
			ニュース記事（映像）について、興味関心を持つことができる。	・記事（映像）を見て、作品について自分の考えや意見を他の生徒や教員に伝える。	コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしている。	・観察による評価
			「外国語表現の能力」			
			英語でまとまりのある文を書いて、発表できる。	・身の回りでおきていることについて、また、このニュース記事（映像）について、自分の考えや意見を２～３文程度の英語で書いて発表する。	・相手に伝わる簡潔な文章を書くことができる。 ・正確な発音で英語を話すことができる。	・観察による評価 ・ワークシートを提出させ、その内容を取り組み状況の判断材料として活用する。
			「外国語理解の能力」			
			ニュース記事（映像）の内容が理解できる。	・Q&A を用いてストーリーの理解度を確認する。	音声を正確に読み（聞き）取ることができる。Q&A において７割以上の理解度に到達できる。	・ワークシートを評価する。 ・定期テストの内容理解を問う出題にて評価する。
			「言語や文化についての知識・理解」			
			基本的な文型の構造や文を理解できる。また、時制についての文法を理解できる。	・文の種類、動詞の活用、時制の意味や用法を確認する。	外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	・言語の使用場面と働きを意識した定期テストの筆記テストにおいて判断する。